

現代民俗学会第19回運営委員会

【日時】：2011年9月10日(土) 午前10時00分

【場所】：成城大学3号館32A室

【出席者】：石本敏也、及川高、小熊誠、武井基晃、徳丸亞木、中野泰、古家信平、渡部圭一

一. 総務委員会

(1) 来年度予算案について(石本委員)

下記の日程で予算案を審議する。

① 次回の運営委員会：各委員会から予算案(概算、事業計画)提出、審議。

② 来年3月の運営委員会：予算案承認。

③ 来年5月の総会：報告・承認。

(2) 『現代民俗学研究』電子公開(及川委員)

当学会誌をWeb上で公開する件について提案と、それに対し検討すべき点が提起された。公開についてと公開作業のルーチン化を目指すことについてはおおむね合意を得た。

・公開時期：第1号(2009年刊)について、刊行から丸2年を過ぎた2012年4月からの公開は適切とされた。

・公開内容：論文・研究ノートのみ、PDFファイル形式で公開。論文付帯のコメントも分離しない。

・執筆者の合意：1号に関しては問題ない。

・公開方法：学会サイト上にアブストラクトのページを設け、そこにPDFのリンクを貼り付ける。多くの人に見てもらうためパスワードは設けず、フリーアクセスとする。管理は現行サイト管理の延長ででき、現在利用している民間のサーバーの容量も問題ない。引き継ぎも考え、来春までにサイトの整理を行いたい。

(3) 年次大会午前中の「個人発表」募集について(及川委員)

来年度年次大会でも、今年度と同様に行うこととなった。定員は3人とし、査読制を取る。

11月に募集告知、1月末に締め切り、2月までに査読結果の通知を行う。

(4) 3年未納者対応(武井委員)

3年間(2009~2011年)分の会費が未納の会員(一般2名、学生3名)について、会員身分に言及した振り込み依頼状と振込用紙を送付する。書面上の締切は年内とし、年度末まで無回答だった場合、会員身分の処理を行う。

二. 編集委員会(徳丸委員、渡部委員)

(1) 第3号関連

海外分も含め、執筆者への発送を完了した。またWeb掲載用の和文要旨(3名分)を取りまとめ、総務広報担当に掲載を依頼した。

(2) 第4号：編集について報告

1) 一般投稿

8/1の期限までに9本の投稿があった。9本すべてに対し2名の査読者を選定し、査読を開始した。

2) 依頼原稿

特別寄稿論文1本を依頼済みである。「批評」は1本（前号論文のコメント）のみの予定。

三. 研究企画委員会（中野委員）

（1）次回研究会

「ローカル・ガバナンスと地域社会（シリーズ 政治と民俗学②）」について企画書が読み上げられた。震災によって中止となった2011年3月の第9回の企画をもとに構成したものである。

（2）～2012年7月 研究会開催予定

合わせて、2012年7月までの研究会開催予定も報告された。

四. 次回、運営委員会について

次回は、翌1月～2月にかけて改めて日程を調整することが決まった。